

中学生の約 2 割が学習のため毎日ネット利用

～考えてみましょう！親子間のスマホルール～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

◆ポイント◆

- ・毎日 YouTube を見る小中学生はいずれの学年でも 3 割超え。
- ・中学生の約 2 割が学習のため毎日ネット利用。

1. 調査結果：

1-1. YouTube の利用時間

関東 1 都 6 県在住の小中学生に、「YouTube の利用頻度」について伺いました。その結果、毎日 YouTube を見る小中学生はいずれの学年でも 3 割を超えていました。毎日 YouTube を利用する子どもは小学 1 年から既に 3 割を超えており、中学生になると 6 割程度に拡大していました(図 1)。

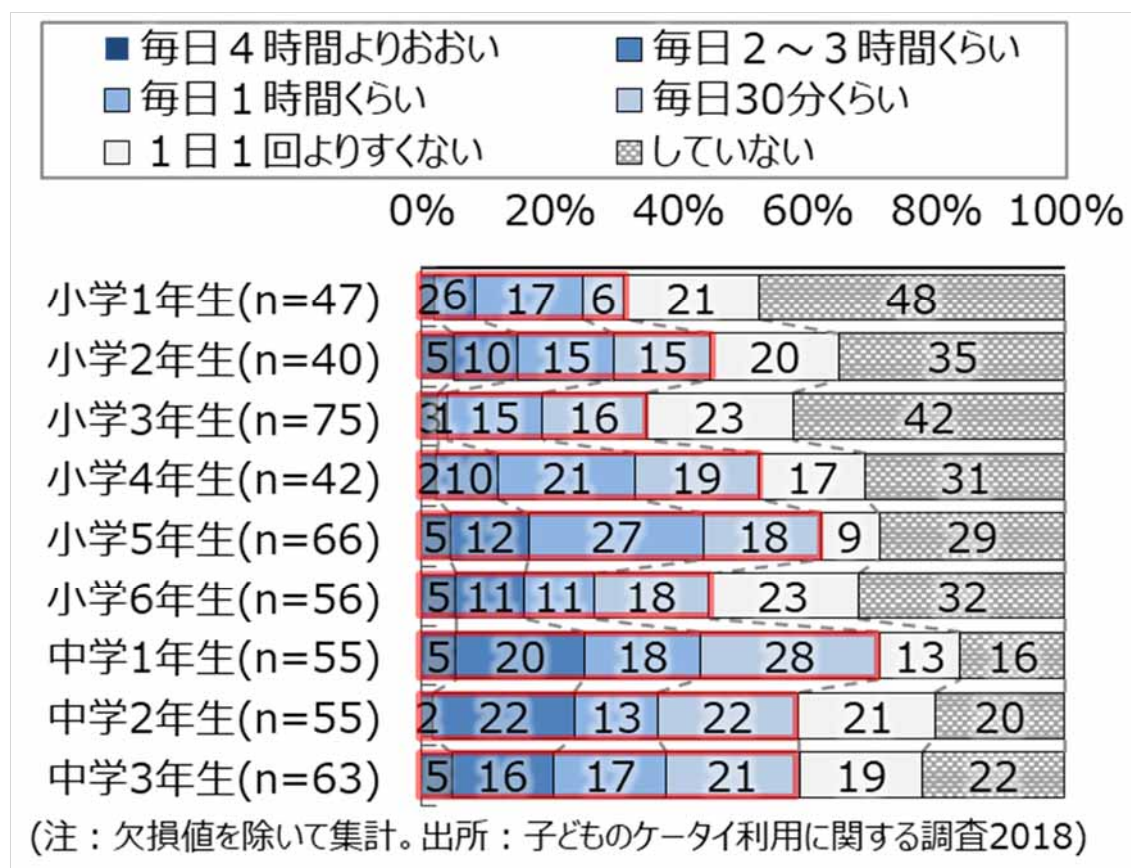


図 1. YouTube を利用する頻度(SA・学年別)

[調査対象：関東 1 都 6 県の小中学生]

(※「YouTube」は Google LLC の商標または登録商標です。)

1-2. 学習のためのインターネット利用時間

それでは、小中学生はどういう目的でインターネットや YouTube 等の動画を利用しているのでしょうか。「学校や塾の宿題について、インターネットで調べたり動画をみる頻度」を伺ったところ、学習のためネットを利用している子どもは、中学生になると一気に拡大し、中学生の約 2 割が学習のため毎日ネットを利用すると回答をしていました(図 2)。

確かに小中学生は、YouTube をはじめとしたインターネットや動画の利用が多いように見受けられますが、必ずしも遊びだけに使っているわけではなく、学年が上がるに伴い学校や塾の宿題での利用にも活用しているようです。

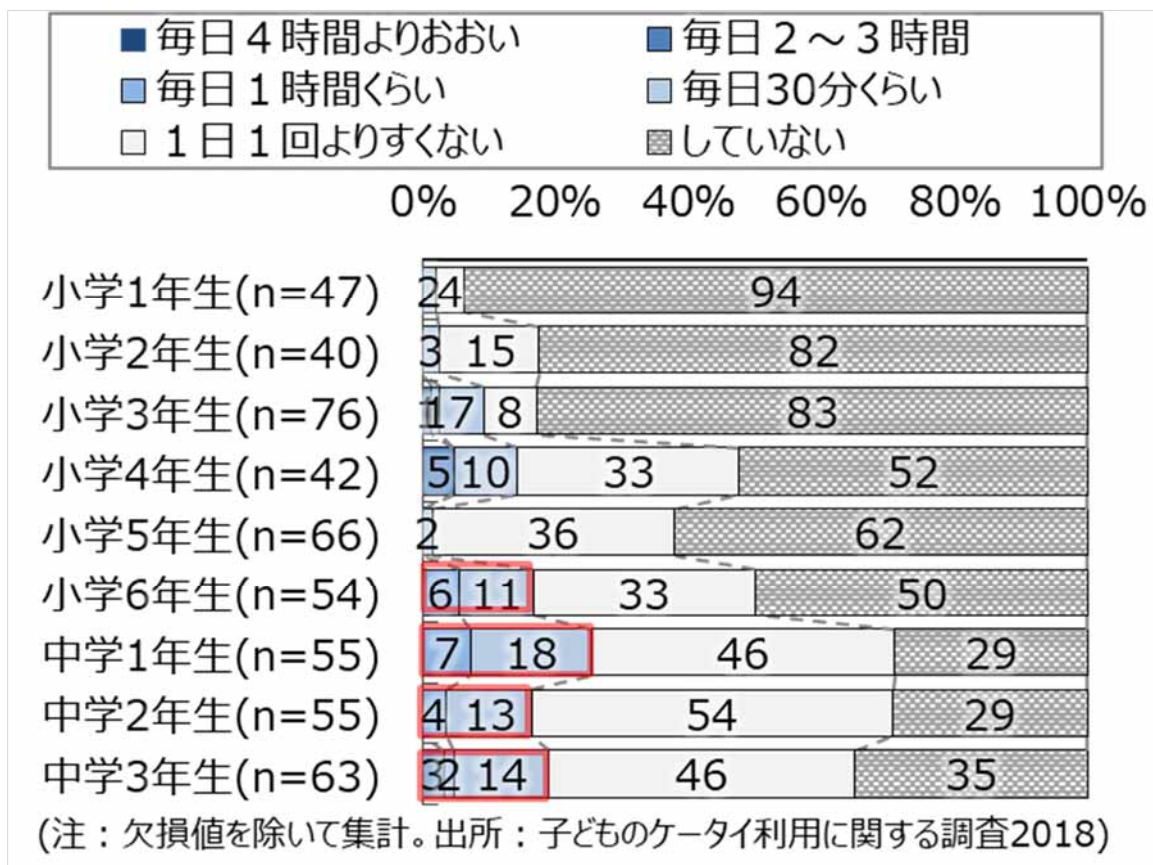


図2. 学校や塾の宿題について、インターネットで調べたり動画をみる頻度(SA・学年別)
[調査対象：関東1都6県の小中学生]

2. 調査概要 —子どものケータイ利用に関する調査 2018—

調査方法	訪問留置調査
調査対象	関東1都6県に在住する小中学生の子どもとその保護者
有効回答数	500組の親子
サンプリング	層化二段抽出[クォータサンプリング法(都市規模別性年代)] 7~15歳の都市規模別人口構成比に応じて、町丁目(50地点)を比例配分して抽出し、抽出された町丁目において、7~9歳、10~12歳、13-15歳の都市規模別性年代人口構成比に応じて個人を割り当て、該当者をランダムウォーク法で抽出
調査時期	2018年9月

小中学生の方が安心・安全にスマホを利用していただくためのガイドや、スマホ・ケータイ安全教室のご案内を下記のURLで公開しています。ぜひご家庭・学校でご活用下さい。

<<https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/safety/>>

■ 問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。
株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com